風と樹の詩（うた）

～いまをみつめて～

社会福祉法人砂町友愛園
砂町友愛園養護部 施設長 河上準一
〒198-0172　東京都青梅市沢井 1-506
☎0428-78-8388　fax0428-78-9104
http://www.sunamachi-yuaien.or.jp/
2018 年　春号

待つということ

施設長　河上　準一

今年も、奥多摩の山々の緑が一段と鮮やかな季節となりました。砂町友愛園養護部の園舎や庭周りは、職員が季節に合わせた花を丹精込めて植え育ててくれています。植える花に合わせ鉢植えか直植えを決め、日照や土壌場所を確認し、雑草を抜き土を柔らかく耕し、元肥や追肥を与え、害虫や病気と水やり等を気にしながら、その時々の状況に応じた沢山の手をかける事で花ははじめて見事に咲き誇るのだと思います。花を眺めて「きれい！」と思う背景には、このような地味ではあるが沢山の手をかけ続けていた段階を経ているのでしょう。

子どもの養育に関わる仕事をする私たちは、子どもたちにとって更に最善の利益となるような支援や援助ができるよう、日常の生活の中で試行錯誤をしながら関わりを持っています。ともすると日々の子どもたちの状況に一喜一憂しまいがちであったり、過度な期待や早急な結果を期待してしまうこともあります。そのような時はちょっと立ち止まり、花をきれいに咲かせる為には必要となる時間と手間があるように、私たち職員も子どもたちの成長をもう少し時間をかけて待てる気持ちの余裕と、子どもたちとの日常で関わる何気ない生活の時間を更に大切にしたいものです。

今年度は 4 名の中学三年生と 4 名の高校三年生が進路選択となり、それぞれの子が思い描いている将来の夢や希望を叶える為に、受験勉強や就職試験に向けて頑張りました。結果、4 名の中学生は希望の高校に入学する事ができ、4 名の高校生も希望する就職先や専門学校・大学進学を決めることが出来ました。今年度も児童養護施設で暮らす子どもに対してご理解ある複数の協力関係団体様から、卒園卒業後の生活支援や奨学金の助成をして頂きました。また、今年度も児童養護施設で暮らす子どもの生活向上のために、沢山の団体や個人の皆様よりご支援ご協力を賜りましたこと、併せて心より感謝申し上げます。

行事報告

今年も砂町友愛園ではたくさんの行事をおこなう事ができました。その中の一部になりますが紹介をしたいと思います。

＊クリスマス祝会＊

待ちに待ったクリスマス祝会。横田基地の方やワールドメイトの方と良い交流ができました。また、イベントに明星大学の方を招き、室内合奏を演奏していただきました。
普段身近にない楽器から流れる音楽は新鮮で素敵でした。

＊招待行事　みらいの森＊

みなさんは「みらいの森」というＮＰＯ法人をご存知ですか？この法人のホームページには「児童養護施設で暮らす子どもたちのために、アウトドアプログラムを通じて生涯の糧となる体験を創り出し、幸せで実りある成長をサポート」するとあります。正式な名称は、「認定特定非営利活動法人みらいの森」です。砂町友愛園との関わりは 2017 年 4 月から始まります。年間を通しての月に 1 度アウトドアプログラムを「みらいの森」は提供してくれます。そのプログラムに砂町友愛園の子ども達は参加しています。今回は 2018 年も明けたばかりの 1 月 4 日から 3 泊 4 日でウィンターキャンプに参加したお話です。

参加したのは、子どもは男児 4 名と職員は 1 名でした。一通りの説明をスタッフの方たちから受けた後、待ちに待ったウィンターキャンプのアクティビティが始まりました。手始め（この時は手始めではなく全てだと思っていた。）に近くのフィールドで雪遊びが始まりましたが、とても深い新雪で簡単に両足が見えなくなりました。気温も低すぎて雪玉が作れない程です。子どもたちはそんな深い新雪に大声で喜びました。

翌日はそり遊びをしました。ここでも辺り一面新雪で積雪もかなりあり、簡単に体が埋もれ見えなくなってしまいました。スタッフにジャンプ台を作ってもらい子ども達は帰る時間ギリギリまで遊び続けていました。

圧巻は最終日のナイトハイクです。真っ暗闇の山の中に子ども達、キャンパーやスタッフ、職員全員で入って行きます。みんなで丸い輪を作り、一斉に背中から倒れ込むと隣の人の気配すら雪で遮られるほど体が沈みました。新雪の中に大の字になって寝っころがり見上げた星空は後頭部を刺激しました。この時初日のアクティビティが手始めだったことを思い返されました。子ども達も眼の前に広がるプラネタリウムのような夜空が機械ではないことは十分に理解しており、はっきり

と鮮明に映し出されている大自然のスクリーンにただボーっとしていました。こうしてウィンターキャンプは子ども達の心の中に沁みこんでいきました。他にもまだまだ紹介出来なかった

アクティビティがありましたが、紙面制限があるため割愛させて頂[illegible]私の拙い文でもウィンターキャンプの素晴らしかった体験が伝わ[illegible]

みらいの森のクリスマス行事に参加をさせていただきました。装飾班・クッキー班・メッセージ班に分かれてアクティビティをしました。その後、ジェスチャーゲーム等楽しいレクリエーションをやりました。他施設の子や外国の方とたくさん関わることができ、良い経験になったと思います。　　金子職員

みらいの森の仲介でKEENの靴をいただきました。

＊門出会＊ 卒園生の言葉

園では無添くら寿司で 3 年間アルバイトをして頑張りました。この経験を生かして、これから勤める会社の一員として恥じないように頑張ります。　　卒園生 A

私は今までの 13 年間、園で過ごす事が出来て本当に良かったと改めて感じています。正しい生活リズムはもちろん食事のマナーや色々な人との付き合い方など、社会に出ていく上でとても大切な事や知っていなくては恥ずかしい事など学ぶことが出来ました。私は今まで学んだ事をこれからの人生に生かしていきたいと思います。　　卒園生 R

園の職員さんや子どもたち、学校・塾の先生や友達、フレンドホームさん、学習ボランティアさん、ホストファミリー、バイトの先輩方…。砂町友愛園で過ごした 11 年間で経験したたくさんの出会いのおかげで夢ができ、また自分の未熟さに気づくことができました。進学を目指す中では周囲に迷惑をかけるばかりでした。受験勉強ができるよう、協力して下さった職員さんや子どもたちに本当に感謝しています。ありがとうございました。
世界で大学に進学できる子どもは 100 人に 1 人です。大学で学び、私が成長できたとき、「あの時応援して良かった」と言っていただけるように、これからの 4 年間を誰よりも大切にしていきます。　　卒園

＊入学＊ 新一年生の言葉

この春一年生になりました。前は時間をみたり、すぐに動いたりできなかったけど、今はできるようになりました。これから、自分の事がしっかりとできる一年生になりたいです。友達をいっぱい作ったり、お勉強をしたり、たくさん頑張りたいと思います。　　小 1S

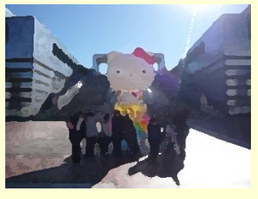
S のなりたい一年生の絵

＊マナー教室＊

子ども、職員全員参加のマナー教室の企画は年度末最後の門出会にあわせる事で実現できました。
青梅市内の結婚式場で普段の食事では触れたことのない高価な皿にナイフやフォークとスプーンを使用しながらフランス料理のフルコースを堪能出来ました。緊張感いっぱいでしたが美味しいお料理をいただきながら楽しく丁寧なお話を接客サービス課長さんからしていただきマナーを学ぶことが出来ました。食事の際に参考になっている会話が聞こえてきます。良い経験が出来たと思います。　　長谷見栄養士

＊帰省期間の様子＊

帰省期間は 6 つのユニットが本園に集まり、大晦日やお正月を楽しく過ごします。今年はサンリオピューロランドと西武園ゆうえんちにいってきました。



＊支援者一覧（平成 29 年度、順不同、敬称略）＊

ご協力いただきありがとうございました。

清田美智子、沢井駐在所　宮本、福島恵美子、株式会社酒井組、吉﨑商店、原嶋曜子、稲田義明、青梅あけぼの幼稚園、国際ソロプチミスト青梅、青柳義雄、高野晴夫、森下和仁、沢井一丁目 6 組自治会、米軍横田基地 374 通信隊、光明寺、認定特定非営利活動法人みらいの森、田草川恒秋、株式会社東新商会、床屋　立川、一般社団法人子供みらい基金、池堂京子、石川靖二、一般社団法人風のみどり塾、一般社団法人東京馬主協会、上田寛、大沼淳、加来芳一、酒井政修、あおうめ会（御菓子司あら井、有限会社火打だんご本舗火打庵、有限会社ヘーゼル、有限会社柳丸）、株式会社電通、加藤産業株式会社　Kato グリーンウッド基金、株式会社ガイア、株式会社大洋観光サービス、株式会社兵左衛門、株式会社チュチュアンナ　チュチュアンナ１％クラブ、株式会社プレナス　ほっともっと、全国シャンメリー協同組合、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ、合同会社文屋、株式会社メリーチョコレートカムパニー、宮本利雄、公益財団法人報知社会福祉事業団、公益財団法人毎日新聞東京社会事業団、柴田幸作、セカンドハーベスト・ジャパン、コストコホールセール ジャパン株式会社　入間倉庫店、テスタ、全国信用協同組合連合会、東京都蒟蒻協同組合、ドリームプロジェクト実行委員会、日本鏡餅組合、馬場医院　馬場誠、フィリップ モリス ジャパン株式会社、相沢真弓、福島さとみ、富士山天然氷・蔵元「不二」　島田邦雄、宮本守、二俣尾駐在所　今井、もちづき洋品店、山﨑良子、ワールドメイト、有限会社ダスカジャパン　クァウテモック、横山甲司、吉野好男、吉野良久、読売中高生新聞、公益財団法人 SBI 子ども希望財団、公益財団法人雨宮児童福祉財団、社会福祉法人東京都社会福祉協議会、他匿名

＊新任職員紹介＊

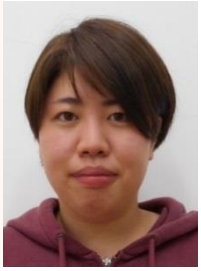
昨年 10 月より、非常勤で勤めています。年齢的にもハードルの高い仕事ですが、少しでもお役に立てるように頑張りたいです。岩本職員

分からない事がたくさんありますが、頑張っていきたいと考えています。子ども達と一緒に楽しめることができる職員を目指します。　新保職員

この度、3 月から本園勤務の職員になりました吉田恵梨奈と申します。私は以前チアリーディングをやっており、身体を動かすことが今も変わらず好きなので、自然豊かなこの場所で元気に楽しく体を動かしたいです。砂町友愛園の一員として努力をし、活躍できるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。　吉田職員

昨年秋よりグループホーム司で家事や子どもの支援をしています。児童のお顔をみたり、お話をしたりして元気をもらっています。　関戸職員

4 月から入職しました、蝦名香菜子と申します。砂町友愛園で働き、子ども達が「あの頃は楽しかった」と思えるような環境を作っていきたいです。そして、多くの夢を持てるよう、サポートしていきたいです。また、イベント等を通じ、多くの方と関わりを深めていけたら幸いです。一生懸命頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。　蝦名職員



昨年の 9 月より、砂町友愛園で勤めています。よろしくお願いします。小林職員

募集中です

〇フレンドホーム

家庭で生活することができない子どもを、夏休み、冬休み、土曜日、日曜日、祝日など、学校がお休みの期間に、ご都合の良い数日間お預かりいただける方を募集しています。おおむね３歳から１２歳の入所児が対象です。

〇ボランティア

子どもに勉強を教えてくださる方、一緒に遊んでくださる方、行事のお手伝いをしてくださる方を募集しています。